

「食道胃接合部癌に対する集学的治療成績の検討」に関する研究

1. 研究の対象

2003年4月から当院で食道胃接合部癌の治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

食道胃接合部癌の予後は悪く、まだ全国的にコンセンサスを得られる治療方法は定まっていません。治療は手術や化学療法などいろいろ組み合わせられた集学的治療が行われています。当院でも食道胃接合部癌に対しては手術や化学療法など様々な治療方法を組み合わせて行っています。

本研究では当院で食道胃接合部癌と診断され当院で行った手術成績、化学療法の治療を検討し食道胃接合部癌の予後を把握することが目的です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：治療時の年齢、病歴（治療歴のある病気や手術歴など）、血液検査や画像検査結果、手術内容、術後経過、化学療法の治療内容、摘出した臓器の病理検査結果、再発の有無、生存の有無などを評価します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

川崎医科大学 消化器外科学 窪田 寿子

岡山県倉敷市松島577

086-462-1111 内線 26503

email; kubota@med.kawasaki-m.ac.jp

5. 利益相反

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し適正に管理されています。